

## 定例会の 主な内容

第4回(2月)定例会は、2月10日から3月19日までの39日間にわたり開催しました。この議会では、市長から令和2年度の施政方針が述べられた後、令和元年度関係議案25件、令和2年度関係議案27件及び議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。また、15人の議員が一般質問を行いました。(P.6～10)

ここでは、令和2年度の一般会計、特別会計(4事業)及び企業会計(3事業)の予算審議、歳入・歳出予算額等の主な内容をお知らせします。

## 特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合に、保険料などの特定の収入でその支出を賄う会計です。

会 計	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減率
国民健康保険事業	211億7,500万円	216億6,500万円	△2.3%
土地取得事業	1億2,000万円	5億円	△76.0%
介護保険事業	166億2,400万円	162億8,900万円	2.1%
後期高齢者医療事業	26億9,000万円	25億3,600万円	6.1%
簡易水道事業*	—	3,200万円	皆減
合 計	406億 900万円	410億2,200万円	△1.0%

※簡易水道事業については、令和2年度から水道事業へ統合されます

## 企業会計

企業会計は、地方公営企業法の適用を受けて、公営企業会計による独立採算制で行う会計です。

会 計	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増減率
病院事業	126億 400万円	130億円	△3.0%
水道事業	55億7,500万円	55億4,500万円	0.5%
下水道事業	98億3,100万円	93億7,800万円	4.8%
合 計	280億1,000万円	279億2,300万円	0.3%

### 特別会計企業会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 特定健康診査の受診率向上のための新たな取組は。

**答** 令和2年度は、受診勧奨の通知にあたり、その効果を高めるため人工知能(AI)を活用し、受診率の向上に取り組んでいく。具体的には、特定健康診査の受診履歴や年齢、性別、健診結果のほか、問診票に記載された生活習慣等のデータをAIが解析し、主に、勧奨により受診が期待できると区分された対象者に対して、特性に合った内容により受診を促す通知を送付し、受診率の向上を図っていく。

**問** 地域包括支援センターのケア体制を確保するための取組は。

**答** 市が委託する市内11か所の地域包括支援センターにおいて、介護サービスの調整等に優れた職員を確保するための人件費相当分を増額し、高齢者数の増加や多様化するニーズに対応するための体制整備に取り組んでいく。また、長寿福祉課内に設置した基幹型地域包括支援センターが後方支援を行うことにより、各地域包括支援センターのケア体制の確保に取り組んでいく。

**問** 後期高齢者医療保険料が令和元年度に比べ1億3,207万7,000円増加している理由は。

**答** 静岡県後期高齢者医療広域連合が2年ごとに行う保険

料率の改定年となることに伴う保険料率の上昇や、被保険者数の増加が主な要因である。

**問** 市立病院の経営課題として、経営補助のための一般会計からの繰入れが続いていることが挙げられるが、経営改善に向けた取組は。

**答** 経営改善には、収益確保と費用削減の取組が必要と考えており、診療報酬制度に定められた各種加算の取得により、入院患者1人当たりの診療報酬単価を上げることや、他の医療機関との連携強化により患者数の増加を図ることなど、さらなる収益の確保に取り組んでいく。また、業務委託の仕様の見直しや、コン

サルを活用した薬品の価格交渉及び共同購入品目の拡大などにより、費用の削減に取り組んでいく。

**問** 下水道の人口普及率の見込みは。

**答** 下香貫、西島町、大岡、岡宮地区など、投資効果の高い人口密集地区の管渠布設工事を実施することにより、令和2年度末の人口普及率は、令和元年度末の見込み61.2%から1ポイント増の62.2%を見込んでいる。



下水道  
マスコット  
キャラクター  
「スイスイ」